

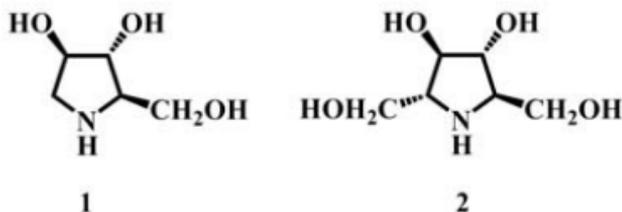
# 30E-pm10

七葉一枝花 *Paris polyphylla* 根茎の  $\alpha$ -glucosidase 阻害活性成分について

○佐々木 辰憲<sup>1</sup>, 李 巍<sup>1</sup>, 加藤 裕芳<sup>1</sup>, 陳 佩<sup>1,2</sup>, 王 英華<sup>2</sup>, 小池 一男<sup>1</sup>(<sup>1</sup>東邦大薬,<sup>2</sup>寧夏回族自治区薬品検驗所)

【目的】ユリ科植物七葉一枝花 *Paris polyphylla* の根茎は中国では伝統的に癌や炎症に用いられている生薬である。我々は中国寧夏産薬用植物の化学研究の一環として、七葉一枝花根茎の成分研究を行い、13種のステロイドサポニン成分の単離と癌細胞毒性について報告した<sup>1)</sup>。今回、七葉一枝花の水画分に顕著な $\alpha$ -グルコシダーゼ阻害活性が認められたため、その活性成分の探索を行った。

【方法・結果】七葉一枝花根茎をメタノールで抽出し、得られた抽出エキスについて酢酸エチルと水にて順次分配操作を行い、得られた水画分をダイアイオン HP-20 カラムにて処理した。更にアンバーライト IR-120 カラムクロマトグラフィーを用いて分画し、 $\alpha$ -グルコシダーゼ阻害活性を示した 2%NH<sub>3</sub> 画分に対して NH シリカゲルカラムクトマトグラフィーを用いて細分画した結果、2種の5員環アザ糖 **1**, **2** 及び PPC1 が単離された。これら化合物の $\alpha$ -グルコシダーゼ阻害活性及び PPC1 の化学構造については現在検討中である。



<sup>1)</sup> 日本薬学会第 129 年会 講演要旨集 2 p.72 (2009 京都)